

(様式2)

議事録番号

提出 2014年6月17日

## 会合議事録

研究会名： 企業利用研究会

日 時： 2014年6月10日 13:30—16:00

場 所： SPring-8 普及棟中講堂

出席者： (議事録記載者に下線)

巽修平、松井純爾、佐野則道、橋本保、  
坂田修身、伊藤廉、妹尾与志木、  
上田和浩、野口真一、山川晃、  
小森和彦、小林圭史、鈴木直、籠島靖、  
堂前和彦、竹村モモ子、古宮聰、三浦圭子

計 18 名



議題：

1. 「企業利用研究会」の研究会活動の進め方
2. 融合型研究会グループへの参加についての可否、並びに進め方
3. 研究会コミュニケーションの進め方： (1) 産業利用報告会への協賛、  
(2) SPring-8 シンポジウム開催時の研究会開催
4. 登録機関 JASRI が利用促進のために実施する研究開発に関する事項： 新分野、  
新領域に関する研究開発ニーズの収集、また研究開発成果の展開について
5. SPring-8 のビームラインに関する事項： 利用研究分野毎に、新規領域の展開  
や利用ニーズを考慮した既存 BL の高度化及び BL の再構築に関する意見
6. SPring-8 次期計画に関する事項： 国内外の放射光科学のグランドデザインを  
踏まえた SPring-8 次期計画の位置づけ、意見
7. その他

議事内容：

1. 「企業利用研究会」発会に伴う今後の研究会活動の進め方

1.1. 幹事会の設置

∞ 幹事会は、研究会の運用の方向付けについて、代表／副代表に対し、助

言を与える。幹事会メンバーは、研究会を主として構成する、産業利用報告会主催 4 団体および NIMS より代表者を選出する。さらに、JASRI 共用 BL のヘビーユーザーにも加わってもらう。

- ∞ 以下の幹事とオブザーバーが承認された。  
廣沢一郎 (JASRI)、松井純爾 (兵庫県立大学放射光ナノテクセンター)、  
籠島靖 (同)、鈴木直 (日産自動車)、上田和浩 (日立製作所)、堂前和彦 (豊田中央研究所)、坂田修身 (物質・材料研究機構)、山川晃 (オブザーバー、JASRI)
- ∞ JASRI 共用 BL のヘビーユーザー代表者の選出は、廣沢室長に依頼する。  
(研究会終了後、副代表より依頼済み。)

### 1.2. 研究会会合の開催

- 本年度は 2 回開催する。
  - 1 回目は本会合 (6 月、SPring-8)
  - 2 回目は産業利用報告会に付帯して開催 (9 月、姫路)
- 参加者数最大化の観点から、2 回目を SPring-8 シンポジウム時のサテライト研究会として開催する案は採らなかった。

### 1.3. 本会合以降の議題への要望

- ∞ 本会合議題 4、5、6 は互いに関連し、会員の問題意識も高いので、まとめて継続して議題として取り上げてほしい。
- ∞ 特に次期計画に関しては、専用 BL ユーザーの持つ危機意識を共用 BL ユーザーが共有できるように議論を行い、研究会の総意として意見を発信したい。
- ∞ 共用 BL ユーザーらが抱える利用に対する様々なハードルを下げる助けとなるような題材も、議題として取り上げてほしい。

## 2. 時限付分野融合型研究グループへの参加の可否

- ∞ SPRUC 研究会組織検討作業部会が「実用」研究グループの設置を決定し、本研究会の参画を想定しているが、本研究会ではこれに参画しないことを決定した。
- ∞ 産業利用ビームライン主要 4 団体を中心に、産業界ユーザーの組織化を図るために本研究会が発足したばかりであり、活動内容が特定テーマについて短期集約を目的とする研究グループには馴染まない。

## 3. 研究会コミュニケーションの進め方

- ### 3.1. 産業利用報告会に「協賛」参加し、研究活動のコミュニケーションを促す。

- ∞ JASRI から本研究会宛に参画依頼書を提出してもらおう。(研究会終了後、副代表より廣沢室長に依頼済み。)

### 3.2. 産業利用報告会に付帯して研究会を開催する。

- ∞ 9月4日木曜日午前中開催に決定。

### 3.3. その他

- ∞ 次回研究会のため、議題4以降の項目について会員の意見をアンケート形式で集約する旨決定した。その際には、ある程度の具体案を提示し、会員が回答しやすいように工夫する。
- ∞ 全会員へのコミュニケーションには研究会のメーリングリストを活用し、重要な通知はくどくない程度に配信する。
- ∞ SPring-8 シンポジウムのポスターなど、本研究会から外に情報を発信する際には「4団体」色は抑えて、広く企業ユーザーのための会であることが伝わるよう留意する。

(以下の3議題は互いに関連するので、纏めて議論された。)

## 4. 登録機関 JASRI が利用促進のために実施する研究開発に関する事項

## 5. SPring-8 のビームラインに関する事項

## 6. SPring-8 次期計画に関する事項

- ∞ 現在確立され有効に活用されている設備や技術が最高性能で維持されることが、企業ユーザーにとっては決定的に重要。
- ∞ 次期計画の下で今の技術がどうなるのか、施設側から示してもらいたい。
- ∞ 次期計画に伴い、産業用 BL 各団体が BL 改変の計画を立案するのに必要な情報(具体的な費用の概算ができる程度まで)を、施設側から出してもらおう要望をしたい。

## 7. その他

- ∞ 共同実験者の所属や利用履歴を検索する際に、併せて参加している SPRUC 研究会も検索できるようにならないか。

(研究会終了後、副代表より SPRUC 事務局に訊いてみたところ、利用者個人情報保護の観点から困難、との回答を得た。各研究会会員名簿を代表/副代表のみが閲覧できるよう2重パスワードで保護されている状況から、上記回答は妥当と判断できる。)

以上